

LD・AD/HD 等分科会

島田市立島田第四小学校 LD 等通級指導教室

吉永建夫先生

- ・実践例は新任でも取り入れられそうな具体例があって良かった。
夏目先生が言っていた通り、子どもだけでなく大人の社会もつながりが大事だと改めて思った。
- ・関わるすべての人が自分を振り返り、実感することができていました。幼児言語教室では、幼いために本人の振り返りがなかなか難しく、園での定着が確かめられずにいます。
また、不安を表すお子さんが多いので家庭や園へのアプローチを考えていきたいです。
- ・時間の都合で視聴できませんでした。
- ・子どもの実態をもとにつけたい力を明確にし、そのための教材を吟味して指導することの大切さを学ばせていただきました。また具体的な指導法をたくさん紹介していただき、とても勉強になりました。本校でも意図的にペア・グループ指導を取り入れていますが、何を目的とし、どんな力をつけさせたいのか改めて確認したいと思います。
- ・吉永先生の実践は、目的が明確で、具体的な内容ばかりで、大変参考になりました。子どもの総合的なアセスメントから、身につけたい力を整理し、具体的な実践に結びつけ、子どもの力を伸ばすことができるのだと思いました。夏目先生の助言にもあったように、アセスメント→指導→変容を知ることや、学級担任や家庭との継続的な連携を図ることが大切だと改めて学ぶことができました。貴重な実践を広めてくださり、ありがとうございました。これからの指導の参考にさせてください。
- ・様々な角度からのアセスメントを基に、どんな力をつけるかを明確にしていることや、ペアでの活動が見事に児童の変容をもたらしていることが素晴らしいと思いました。助言者の先生の「適切な関わりを明確にしなければ指導できない」という言葉を聞き、耳が痛いです。指導計画を見直し、児童につけたい力をもっと明確にしていきたいと思いました。
- ・友達と適切な関わりをすることが苦手な子が、本教室にも通っています。指導者との一对一の学習から、ペアでの学習にステップアップしていく形が、とても効果的だと思いました。ご紹介いただいた指導事例の中に、まねしてみたい指導がたくさんありました。その子にとってどのような指導が有効なのかよく検討した上で、ぜひ試してみたいと思います。
- ・取り上げたそれぞれの項目の指導とそれら全てを生かしての指導を計画的に指導されているのがよい。
吉永先生の実践から、個別、グループともに丁寧にアセスメントし、指導実践をされていることが容易に想像できました。多くの示唆を与えて頂きました。多くのグループ活動を参観する中で活動あって学びなしと感ずることが多々ありました。個人の指導が自分はずは丁寧にやるのが大切だと考えてます。更に、グループでやるならば、個人以上に様々な配慮、準備、仕掛けが必要になると考えます。今日も多く気づきありがとうございました。
- ・アセスメントから、目的をはっきりさせて個別学習でスキルを身につけ、ペア学習でスキルを使うという段階の指導が大変勉強になりました。何のために、その活動をするのか。筋の通った指導の有効性を感じました。

- ・子どもにどんな力を付けたらよいか、課題を掴むための準備や確認等とても大切だと思いました。つけるべき力が明確で、課題に対しての実践や振り返りなど、子どもの様子や成長がよくわかりました。つけるべき力の明確化は、ことばの教室での言語発達遅滞にも同じようなことが言えると思うので、参考になりました。
- ・「不適切な関わり」が続いている中学生も一定数います。通常学級在籍で、通級や医療等に関わってこなかった生徒の支援指導に苦慮しています。吉永先生の指導実践がよいタイミングで行っていければ、どの子どももよい変化が見られるし、保護者も学校も巻き込んでいけるのにな、感じています。長期目標や短期目標設定、そこからの具体的支援指導が各学校学級でできていけることが望ましいですが、対象となる児童生徒が多く、手が回らないのが実情です。通級指導教室がもう少し多くの学校に設置され、個に寄り添った指導実践が増えていくことを切に願います。
- ・吉永先生の実践であるような、「適切な関わり」が苦手な子がいます。現在どのような指導をしていくのがいいのかなやんでいたところでした。とても勉強になりました。まずは、確実なアセスメントをすることからはじめ、自分の感情を理解する、落ち着く方法を探す、相手に伝えるといった段階を追った指導方法を自分も真似していきたいと思います。
- ・夏目先生の中にもあった、「適切な関わり」という言葉の意味を再確認して今後の指導に生かして行きたいと思います。ありがとうございました。
- ・指導の計画から指導方法、指導後の経過まで細かく説明されていて大変分かりやすかったです。また、ペア活動の紹介では、様々な交流活動を通してお互いに心を開いて関係を作っていく様子が印象的でした。ご助言の中に、本人や保護者の困り感や願いがとても大切だと仰る場面がありました。全くその通りだと思います。中には、本人が困り感や願いを抱かずに連れられて来る子もいて、指導に困ることがあります。どのように対応していけばよいかまた機会があれば知りたいと思いました。
- ・学齢の話ですが、幼児にも自分や相手の気持ちに気付いていないために、トラブルになる子や、指導に集中できない子がいます。このような形態で研修が行われたことで、学齢のお話も聞くことができ、とても参考になりました。
- ・他地区の発達通級の指導の様子を知ることができ、大変参考になりました。サイコロトーク、島渡りゲーム、気持ち調べなど、具体的な指導の様子を教えていただいたので、自分達の指導にもぜひ取り入れたいと思いました。ありがとうございました。
- ・ペア活動に興味を持ちました。個別指導と学級での実践の間に一段階あるのはとても良いと思います。
- ・具体的な活動として子どもにとって何をすればよいか分かりやすく、狙いにせまれるもので、参考になりました。個別→ペア→集団で個の力をきちんと育てた上で、集団での適応を目指していく流れの大切さがわかりました。
- ・発達通級の指導では、やはり気持ちの理解や気付きへの指導なくしてはスタートしないと思います。とはいえ、2年生の指導では、気持ちの理解も2年生なりの理解や指導内容となるので、吉永先生の実践のように具体的なSSTの活動と並行しながら進めていくことになるかと思います。活動の途中や振り返りで気持ちを言語化していくことも大切になりますね。

・同じ通級棟にいる仲間の発表でした。アセスメントのこと、それを指導にどう生かしていくのか、自分なりに考える機会をいただけてよかったです。「発達」と「言語」、指導は違いますが子供の見方(実態の捉え、願い)支援の仕方(具体的な手立て)などは、変わらないと思います。夏目先生が価値づけて教えてくださったことを、今後の指導に生かしていきたいと思います。ありがとうございました。

・アセスメントから目標、計画、指導に至るまで、児童を温かく見つめ、穏やかに児童に向き合った先生の姿勢に頭が下がります。具体的な指導の例をいくつも紹介していただき、指導の参考になりました。通級の成果は、学級や家庭でも見られ、児童の成長する過程が手にとるようわかりました。ありがとうございました。

発達支援教室の夏目先生もおっしゃっていましたが、目的が明確であるため、次に何をしたらよいかはつきり分かりやすいと思いました。

・「総合的なアセスメント」から「振り返り」までの指導の過程の具体がわかり、大変参考になりました。その過程の一つ一つを諸機関や同僚、担任、保護者と連携しながら細かく、丁寧に取り組んでおられることに対して身の引き締まる思いになりました。貴重な実践の紹介をありがとうございました。

・吉永健夫先生、丁寧な実践を公開してくださってありがとうございました。夏目先生の講話にもありましたが、多角的なアセスメントから最適な活動を選び、実際に考えや行動の変化につながる実践が大変参考になりました。イライラを上手にしずめる方法を、自分の案、友だちの案、先生の案としていくつも提示する中から、自分にあった方法を選ぶ活動は、自分で選ぶことの大切さ、今後の選択肢も増えることによる幅の広さなど、今後の生き方に直結する実践だと感銘をうけました。私に関わっている中にも、自分の気持ちをうまく伝えることが苦手なトラブルを起こしてしまっている生徒さんがいます。「この対応が正解」ではなくたくさんある方法のなかで自分が選んでみる経験、そしてそれが少しくまいった！という成功体験を積ませてあげられたらいいなと思います。「学級の中で子ども変容」は中学生にはより時間が必要かと思いますが、私達も研修を積んで指導力を上げていくことと同時に、焦らずじっくりと関わっていきたいと考えています。大変勉強になりました。どうもありがとうございました。

・今年発表の児童に似た3年生の児童が2人入級しました。アセスメントや指導内容に悩んでいたところでしたので、とても興味深く視聴させていただきました。ありがとうございました。夏目先生の助言も大変参考になりました。

・不適切な関わりになってしまう理由として考えられることの中に、「気持ちと言葉が一致しない」ということについて興味深かったです。私は今まで、このとことをあまり意識していませんでしたが、自分の気持ちの把握などの指導中に、子供の話すことについてかみあわないな、と感じたことがありました。気持ちと言葉の一致を丁寧に教える必要があった児童かも知れません。また、吉永先生の教材の使い方も、自分では考えつかない方法だったのでまねしたいと思いました。ありがとうございました。

・アセスメントの大切さについて学ぶことができました。吉永先生の明確な目的や具体的な活動は指導の中の一番大切なことだと思いました。何が原因なのかを探り、長期目標、短期目標を一人一人考えていかなければならないことを再確認できました。非常に分析が細分化されており、私自身も目的の明確化、分析の細分化がより必要だと感じました。ただ、原因を探る部分が自分の力では気付くことが難しく、どういった観点から原因を探ることができるか方法を教えていただけるとうれしいです。ありがとうございました。

・話すことが苦手な子が多いです。先生の取り組みを参考に指導にあたりたいです。

・視覚化することの大切さを再認識しました。

・ペア指導で二人とも効果があるように工夫していきたいです。今回の授業を参考にさせていただきます。

・指導している子を思い浮かべながら話を聞きました。「身に付けるための活動」を整理した表に、ふだん感じていることを言葉にしてもらい納得しました。

活動例を参考に指導していきたい。

「個の力の向上」ののちに「応用」として取り組まれたペア活動が機能していて素晴らしいと思いました。

・ことばの教室は大人との一対一なので、限界を感じる場合があります。大人が忖度している？同年代の子はこんな返事をする？「ペア指導」は、そのように感じている私の気持ちにヒットするところがありました。できることから実行してみたいと思います。

関わり方について、幾つものねらいと方策が考えられているのだと思う。ただペア活動をする、ただ書かせるのではなく、ねらいに応じた対応が必要である。私たちが日々関わっている児童も、通級ではできるが学級ではなかなか難しいということが多くある。学級での適応をよくしていくためにも今回の発表をヒントに頑張っていきたい。

・気持ちを話すためのやり取りをする活動が、言語発達遅滞の子供にも役立てると思いました。参考にしていきたいと思いました。

・活動の中で、子供たちの発言やつぶやきを大切に指導の見取りや工夫をされていると思いました。自分の気持ちや行動を言葉に表せることは、行動をコントロールことにつながっていくので、言葉の指導の大切さを改めて感じました。ありがとうございました。

・視覚支援の教材で、イメージを共有していけることは、幼児の支援でも同じでした。個にあった教材研究の大切さを学ぶことができました。

豊かな経験（遊び）を重ねながら、言葉の獲得につなげていくことが、幼児期には大切であることを小学校の取り組みを通して学ぶことができました。

・勉強になりました。現在、発達の園児は担当外になっていますが、まれに、構音と兼ねているため、教室に来ることがあります。まずは気持ちの理解に努めようと改めて思いました。

ありがとうございました。

・「自分の気持ちに気づく」「言葉で気持ちを伝える」ことは幼児の時から大切なことだと思います。でも、言葉だけで伝えてもイメージしにくい子もいます。イメージしやすくわかりやすい言葉で表したり、表情絵カードを使うと自分の気持ちにも気づきやすいと思いました。吉永先生がやっている指導を取り入れてやってみたいと思います。

・何度も検討会の場をもち、こうして実践の形としてできあがったことを大変嬉しく思いました。夏目先生からアドバイスいただいた後の修正版を見て、見やすく、細部まで修正されていることがよくわかりました。本当にお疲れ様でした。素敵な実践を紹介していただき、ありがとうございました。夏目先生のご助言も、大変温かく、「何が大切か」ポイントを押さえたお話は、指導で大事なことを見落とさないようにしなくてはと改めて見つめ直すことができました。子どもを中心に据え、何のために行うのかを常に意識して指導にあたっていきたいと思いました。研修を深めたり、自分の実践に意見をいただいたりする機会がほとんどないので、大変貴重な経験となりました。ありがとうございました。

・繰り返しの指導の大切さを感じます。次年度につなげることを考えると、その繰り返しの指導が他メンバーと共有されていることも大きな成果につながると思う。

通級指導教室ではできているが、それが学校や家庭等の日常生活につながっているのかが大きな課題と感じている。やはり、個の実態把握とねらう姿や指導計画を様々な場で振り返りながら考えていきたいと思った。

・同じ通級棟にいて内容についてのお話を何度かうかがう中で、自分なりに視点を変えて考える機会をいただけてありがたかったなと思っています。アセスメントのやり方、また、それをどのように指導に生かしていくのか、分からないことがたくさんあるので、教えていただいたことを今後に生かしていきたいと思います。また、夏目先生のご助言をいただいて、吉永先生を中心にみんなで考えたことが価値付けされたことで、今後の研修のあり方も工夫をしていく必要性を感じました。ありがとうございました。

・その子にあった、指導のあり方を確認できたことはとても勉強になりました。その子の実態把握がとても大切になってきますが、保護者の思いや在籍校の担任の先生との連携をもとに、我々がより専門性を高めていく必要があると思いました。夏目先生の助言も、一緒に研修してきたことに対して価値付けしていただいて、ありがたかったです。

・一人がセリフを言い、それを返すセリフを考えて言う言葉かけがすごくいいと感じました。また、ペア活動を通して、話し合っ考えることの良さを体感させている活動が、とてもいいなと思います。この活動の積み重ねが、後に生きてくるような気がしました。ありがとうございます。

・適切な関わりを持たない子が増えている気がします。だからこそ、目的を明確にする大切さを感じました。発表の事例の子の実態を聞いて、本校のある子のことがぱっと浮かびました。同時に、その子へのトレーニングメニューをどうしたらよいか悩んでいたのも、とても興味深く聞かせていただきました。一对一の指導、そしてペア活動の実践、とても参考になりました。ありがとうございました。

・指導前に身につけたい力を整理し、身につけるための活動を具体的に考える。それを実践し、振り返る。大切なことを具体的に学べた。子どもの今の姿に向き合い考えていきたい。

・感情の視覚化、グループでの指導など、子どもが抱えているコミュニケーション上の課題に応じた支援が取り入れられていました。特にグループ指導は、通級で実践する価値が大きいと勉強させてもらいました。

・具体的実践例をあげてわかり易い内容だった。Mさんにとって、ペア活動が有効な手立てだったことがわかった。手立てを考えるとときに適切なアセスメントをすることで、児童にあった活動ができることがわかった。

・「適切なかわり」について考え、その力をつけるために取り組むことが明確になっていた。それにより指導の方向性が整理されていたので、自分の指導にも早速取り入れていきたいと思いました。

・通級の指導内容・取り組みが保護者や担任にもしっかり伝わり、家族や学校で意識して関わっていたから、子どもの内容に繋がっているのだと感じました。子どもが適切な関わりを身につけるためには、通級の指導の充実だけではなく、家庭や学校への働きかけが必要であることが改めてわかりました。また、学級の中に良いモデルがいることも、子ども変容に繋がっていると感じました。

・自分が〇〇という教材を使ってみたい、△△さんとグループで指導してみたい、という教員側の思いから指導するのではなく、本人の実態や環境による変化でどのような表れがあるのかなど、個に合わせる指導をするために、しっかり見立てをしなければいけないと感じた。

ペア活動の気持ち調べで、チップの数で友達と自分の気持ちの違いが視覚でとらえられるのがとても効果的だと思いました。

・「不適切な関わり」の児童が多くいます。そのため、具体的な方法を教えていただきとても参考になりました。対象児童の長期目標・短期目標について、絞り込みをして指導されていたのがよかったです。どのようなことを中心課題として取り上げたらよいのか、悩むことが多いです。

気持ちを表すことが苦手な子が本校でもたくさんいます。吉永先生の実践を聞いて、Mさんのもやもやとした気持ちが吉永先生の手だてですっきりされている過程が、聞いていてとても分かりやすかったです。こつこつとMさんにとって良いと思われることを根気強く指導されていて、先生の「Mさんをなんとかしたい」という真摯な思いが、Mさんの良さを引き出したのかなあと感じました。本校でも指導に生かしたい取り組みがたくさんありました。

・適切な関わりのできない子が多いので、吉永先生の発表がとても参考になりました。個別指導でやっているの、グループ指導ができる組み合わせがあれば、やってみたいと思いました。

・目標に向かった活動が具体的で、子供の変容が伝わってきました。

・夏目先生の話の中で、「伸びてきた力を般化させる」とありました。大事な視点だと思います。通級での姿がゴールではないですね。

・アセスメントを丁寧に行い、身につけたい力を整理し、身につけるための活動を具体的に考える。日々の忙しさを言い訳におろそかにしがちな部分ですが、そこが大切なのだと改めて感じました。

・夏目先生のお話の中での「目的が明確でなければ、適切な指導はできない」というお言葉、胸に刺さりました。日々の取り組みを反省しました。

・子ども、保護者、担任の願いを引き出すことや、苦手や困り感がどこにあるかなど実態を正確に把握することは、指導を進めていく上でとても重要なことであると改めて感じました。

自校やサテライト校の子どもたちの担任とは話す機会があるため、クラスでの様子や通級でのあらわれなどについての情報を共有しやすい一方で、他校から通ってくる子どもたちの担任とは話す機会をなかなかもてないことが課題であると感じました。担任との情報共有や連携をはかり、学校と通級が同じ方向を向いて指導していけるといいなと思います。

・一人一人の表れが違うので個の実態把握はとても大切だと思います。先生は本人、保護者、担任のそれぞれの願いを受け止め長期目標、短期目標を立てられています。とても具体的でわかりやすいと思いました。

身につけたい力や目的などが具体的で、段階を踏んで分析されていたことが良かったです。

発達通級の担当はしたことがなく、どんなことをしているのかよく分からない面もありましたが、今回の発表を聞き、その子の課題に寄り添った、とても大切な取り組みをされていることが分かりました。特に「ペア活動」という実践が興味深く、その子の特性をその子自身が客観的に理解できる非常に有効な手段だと感じました。実践を通じて表れたその子の変容が、とてもよく分かる発表でした。ありがとうございました。

- ・自分と友達との気持ちの違いに目を向けるためのペア活動、相手の気持ちを考えた言葉や言い方を習得していくロールプレイングなど、通常学級でも学習していきたい内容でした。大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・事例とともに、指導の方向性、実際の指導、教具について詳しく発表していただいたので、大変参考になりました。丁寧なアセスメントの後に、身に付けたい力に合わせて、どんな活動をするのかの一覧がとても分かりやすかったです。
- ・学年、児の成長にあった段階的な SST の取り組みを知ることができて大変参考になった。
- ・幼児は、まだ気持ちに折り合いをつけることが難しいことが多く、その伝え方で悩むことも多い。保護者には、気長に取り組む必要があると話している。しかし小さくても、今はできなくても、「言葉で伝えよう」と伝え続けることは大切だと考える。そのために、基礎となる語彙を増やし、幼児本人ではうまく言えない「気持ちをあらわすことば」を代弁するなど工夫していきたいと思った。さいころトーク等、取り入れてみたい。
- ・アセスメントをしっかりと行い、それを基に目標を立てて実践を行なっていることが伝わってきました。実践内容も分かりやすく、私も真似してみたいと思いました。ありがとうございます。
- ・大変わかりやすい発表でした。願う姿を担任や保護者と相談し、どういうねらいでどんな指導をするか具体的に指導計画を立てる大切さを感じました。
- ・実践を筋道立てて進め、まとめていくことで子どもが伸び、担当の力量を高めることにつながるということが分かった。
- ・具体的なお話でとても勉強になりました。
- ・関わり方を学習することで適切なかわりができるようにしてあげたいと感じる実践でした。ことばの教室にも関わり方をていねいに教えてあげる必要のある子が増えてきているので、すぐに実践できそうな内容でありがたかったです。
- ・吉永先生の、「身に着きたい力」「身に着けるための活動」の課題分析表（ステップの吟味）がとても参考になったし、このように子どもについて見立てをしていきたいと思った。
- ・グループ活動とか他者との関わりという、4～5人の集団を思い浮かべてしまうが、子ども2人ペアでの活動の意図やバリエーションに、とても納得したし、取り入れてみたいと思った。
- ・吉永先生の実践を聞いて、改めて指導を考える際になんのためにこの指導をするのか、目的を明確にして適切な指導を考えていきたいと思った。
- ・気持ちをコントロールするための指導方法を分かりやすく教えていただきありがたかったです。イライラする気持ちの静め方をいくつか紹介して、本人が選択させることが大切であることが分かりました。

- ・目的と活動が一体となっており、子供に力をつける指導になっていて参考になりました。活動形態も工夫しており、子供が関わりながら成長していく姿が目に見えました。ありがとうございます。
- ・一つ一つの指導が具体的ですぐに実践できるものでした。私が指導している子供にも同じようなところで困り感をもっている子がいるため、今後の指導に活かしていきます。
- ・視覚的な教材の工夫がされていて、分かりやすく楽しく取り組めそうなものばかりです。
- ・吉永先生の、「身に付きたい力」「身に付けるための活動」の課題分析表（ステップの吟味）がとても参考になったし、このように子どもについて見立てをしていきたいと思った。
- ・グループ活動とか他者との関わりという、4～5人の集団を思い浮かべてしまうが、子ども2人ペアでの活動の意図やバリエーションに、とても納得したし、取り入れてみたいと思った。
- ・吉永先生の実践を聞いて、改めて指導を考える際になんのためにこの指導をするのか、目的を明確にして適切な指導を考えていきたいと思った。